

# 平成30年度事業報告

社会福祉法人 ロザリオの聖母会  
共同生活援助事業所  
ナザレの家あさひ

## 1 概括

今年度の大きな事としては、サテライト型のグループホームである上宿ハウスの開設が挙げられる。これは一人暮らしのトレーニングをするようなイメージの新しいグループホームのあり方であるが、ちょうど良い物件が見つかったため、8月1日に新規開設をすることが出来た。これにより箇所数も20箇所になり、定員も91名となった。年度末には正式に入居も決まったため、今後は今までのグループホームとは違う形の支援の仕方を考えていきたい。

次に、大規模修繕については横大道ハウスの外壁改修工事を行った。ここ数年は毎年のように大規模な修繕工事を行っているが、建物の維持管理だけではなく、利用者さんの状態の変化への対応や住みやすい環境整備を今後も計画的に行っていきたい。

人材不足に関しては、今年度初めて人材派遣会社を活用しての登用を行うことが出来た。経費としてはプラスで掛かってしまうことはあるが、これだけの人材難と募集をかけても反応が無いことを考えると、今後も良い人材を確保できるのであれば積極的な活用をしていければと考える。

2 施設（事業所）所在地 千葉県旭市野中4017

3 施設（事業所）開設年月日 平成18年10月1日

## 4 沿革

1996年（平成8年）	4月 1日	福祉ホーム野中ハイツ開設	定員10名
1997年（平成9年）	1月23日	若衆内ハウス開設	定員15名
2003年（平成15年）	4月 1日	横大道ハウス開設	定員21名
2004年（平成16年）	10月 1日	中川ハウス開設	定員25名
2004年（平成16年）	11月 1日	萩園ハウス開設	定員29名
2005年（平成17年）	5月 1日	東足洗ハウス開設	定員34名
2005年（平成17年）	9月 1日	立野ハウス開設	定員38名
2006年（平成18年）	4月 1日	グループホーム支援室開設	
2006年（平成18年）	10月 1日	ケアホーム旭・グループホーム旭事業所指定 共同生活介護・共同生活援助事業開始 野中ハイツ 福祉ホームからグループホーム に変更 東町ハウス開設	定員44名
2007年（平成19年）	4月 1日	大割ハウス開設	定員49名
2007年（平成19年）	7月 1日	グループホーム支援センター開設 荒井 隆一が所長となる	
2007年（平成19年）	8月 1日	対馬ハウス開設	定員53名
2008年（平成20年）	3月 1日	下立ハウス開設	定員58名
2008年（平成20年）	7月 1日	東町ハウス転居 広原ハウスに改名	
2009年（平成21年）	4月 1日	野中ハイツ定員10名から、野中ハイツⅠ定員 5名・野中ハイツⅡ定員5名に変更。	
2009年（平成21年）	9月 1日	生沼ハウス開設	定員61名
2011年（平成23年）	6月 1日	矢指ハウス開設	定員65名

年度(西暦)	年度(平成)	月	日	事業内容	定員
				震災に伴い立野ハウス転居(廃止)	
				西足洗ハウス開設	
2012年	(平成24年)	1月	1日	小割ハウス開設	定員67名
2012年	(平成24年)	2月	1日	仲町ハウス開設	定員72名
2012年	(平成24年)	5月	7日	下立ハウス	震災による修繕工事完了
2012年	(平成24年)	6月	7日	野中ハイツ	震災による修繕工事完了
2012年	(平成24年)	11月	5日	若衆内ハウス	世話人室・喫煙室増設
2014年	(平成26年)	3月	27日	中川ハウス・対馬ハウス・東足洗ハウス・ 萩園ハウス	自動火災報知設備設置
2014年	(平成26年)	3月	31日	下立ハウス	スプリンクラー設備整備
2014年	(平成26年)	4月	1日	折戸ハウスⅠ開設	定員77名
2014年	(平成26年)	4月	1日	折戸ハウスⅡ開設	定員82名
2014年	(平成26年)	7月	16日	横大道ハウス	定員6名から定員7名に変更 定員83名
2015年	(平成27年)	2月	1日	横大道ハウス	定員7名から定員6名に変更 定員82名
2015年	(平成27年)	2月	1日	折戸ハウスⅠ	定員5名から定員6名に変更 定員83名
2016年	(平成28年)	7月	1日	仲才ハウス開設	定員92名
2017年	(平成29年)	3月	31日	横大道ハウス・中川ハウス・対馬ハウス	スプリンクラー設備整備
2017年	(平成29年)	5月	1日	仲町ハウス廃止	
				川間ハウス開設	定員90名
2018年	(平成30年)	2月	22日	萩園ハウス・東足洗ハウス・矢指ハウス	スプリンクラー設備整備
2018年	(平成30年)	8月	1日	上宿ハウス開設(サテライト型)	定員91名

## 5 実施事業及び利用者数

### 5-1 第2種社会福祉事業

#### (1) 共同生活援助事業

### 5-2 障害者総合支援法による指定事業

#### (1) 共同生活援助事業(介護サービス包括型)

(定員91名、平成31年3月31日現在の利用者数：86人)

- ア 野中ハイツⅠ(定員男性5人、平成31年3月31日現在の利用者数：5人)  
千葉県旭市野中3622-2
- イ 野中ハイツⅡ(定員女性5人、平成31年3月31日現在の利用者数：4人)  
千葉県旭市野中3622-2
- ウ 若衆内ハウス(定員男性5人、平成31年3月31日現在の利用者数：5人)  
千葉県旭市ニ3500-11
- エ 横大道ハウス(定員男性6人、平成31年3月31日現在の利用者数：6人)  
千葉県旭市三川横大道7542-2
- オ 中川ハウス(定員男性4人、平成31年3月31日現在の利用者数：4人)  
千葉県野中4070-2
- カ 萩園ハウス(定員女性4人、平成31年3月31日現在の利用者数：4人)  
千葉県旭市萩園1250-4
- キ 東足洗ハウス(定員男性5人、平成31年3月31日現在の利用者数：5人)

- 千葉県旭市東足洗 2 2 7 7 - 1
- ク 西足洗ハウス（定員男性 4 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：3 人）  
千葉県旭市西足洗 5 6 2 - 5 6
- ケ 広原ハウス（定員男性 6 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：6 人）  
千葉県旭市野中 4 0 7 5 - 4
- コ 大割ハウス（定員女性 5 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：5 人）  
千葉県旭市野中 3 8 1 1
- サ 対馬ハウス（定員 4 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：4 人）  
千葉県旭市野中 4 0 7 0 - 2
- シ 下立ハウス（定員男性 5 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：5 人）  
千葉県旭市野中 3 6 2 5 - 1
- ス 生沼ハウス（定員女性 3 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：2 人）  
千葉県旭市イ 1 6 9 4 - 8
- セ 矢指ハウス（定員 4 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：4 人）  
千葉県旭市野中 3 8 1 1 - 2
- ソ 小割ハウス（定員男性 2 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：1 人）  
千葉県旭市野中 3 8 5 0 - 6
- タ 川間ハウス（定員男性 3 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：3 人）  
千葉県旭市萩園 1 8 8 9
- チ 折戸ハウスⅠ（定員 6 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：6 人）  
千葉県旭市野中 3 9 8 5 - 4
- ツ 折戸ハウスⅡ（定員 5 人、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：5 人）  
千葉県旭市野中 3 9 8 5 - 4
- テ 仲才ハウス（定員 9 名、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：8 人）  
千葉県旭市二 2 4 9 1 - 1
- ト 上宿ハウス（定員 1 名、平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の利用者数：1 人）

## 6 職員構成

別紙 1 のとおり（平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の職員数）

## 7 組織図

別紙 2 のとおり（平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在の組織図）

## 8 30 年度重点目標実施報告

### 8-1 福祉・医療の情勢や動向を注視しつつ施設・事業所の安定的運営に努めるについて

#### ア) 制度改正など諸情勢を踏まえた施設・事業所の課題と展望について

今年度から出来た日中サービス支援型や看護師配置の加算など、詳細な内容が出るまではうまく活用していければと検討していたのだが、どちらもここでは難しいというような結論に至った。現在検討されている処遇改善の見直しもそうであるが、制度がものすごく複雑になってきているため、メリット・デメリットをしっかりと見極めて行く必要を感じた。ただその中でも来年度の 10 月には消費税の改正に伴う臨時の報酬改定が予定されており、そこではグループホームの報酬も少し上がることが予定されているのは良かったと言える。

イ) 人材の確保、定着、育成の推進について

人材不足は本当に深刻になっており、今年度もずっと悩まされる一年であった。そこで、初めて人材派遣会社の活用を試みて、年度後半には1名の常勤職員の採用をすることが出来た。これに関しては経費の問題はあるが、それでも優秀な人材が確保できるのであれば、今後も続けていければと考えている。ただ、今後も人材登用難は明らかなので、法人としての抜本的な見直しをしていかなければと考える。

ウ) コンプライアンス（法令遵守）の徹底について

ハウスミーティング、世話人会議、毎朝のミーティングなどでの確認を行い、必要なことに関しては、毎月の経営会議にて報告を行った。

エ) 堅確な財務規律と内部管理体制の確立について

今年度実施された障害者福祉サービス等報酬の改定では、共同生活援助事業において単価が下方改定した。しかし、利用者の暮らしや、提供するサービスの質を下げることは出来かねるため、無理無駄を省き、徹底した予算の管理を行った。また、法人本部及び事業所内外との連携を密にし、資金の運用等において適正且つ円滑な会計処理を行うよう心掛けた。次年度は税制改正とそれに伴う報酬改定なども行われるため、情報の収集と正確かつ健全で安定した運営が行えるよう、予算管理の体制強化、資金の確保などに努めていきたい。

オ) 利用者の一人暮らしへの支援を推進するため、サテライト型のグループホームを開設するについて

平成30年8月1日に、上宿ハウス（サテライト定員1名）を新規開設した。

8-2 社会福祉法人に求められる課題を踏まえつつ利用者等のサービスの質向上に努めることについて

ア) 虐待防止、差別解消や合理的配慮など利用者の人権尊重に向けた取り組みについて

世話人会議において、法人の理念、倫理綱領、職員行動規範、福祉サービス共通基準について確認した。また、虐待防止・虐待対応時マニュアルを確認した。現場において活用できるスキルとしてアンガーマネジメント研修を実施し予防に努めた。

虐待防止委員会を継続的に行い、利用者メモの確認を行い、日頃の些細な出来事から虐待が起きていないか確認を行った。しかし、1軒のグループホームで虐待があり、再発防止の為、支援方法と支援体制の再構築を行った。

イ) 利用者の立場に立った福祉サービスの実施について

各ホームにおけるミーティングの内容をもとに支援を行っている。福祉サービス共通基準の結果をもとに改善点を明確にし対応を行っているが、同性介助については男性職員が少ないため、今後の課題となっている。

ウ) 福祉サービスの一層の充実を目指した生活環境・利用環境の向上について

1) 建物の老朽化等による対策等

① 横大道ハウス外壁等改修工事

横大道ハウスの建物は、建築後37年が経過し、屋根については、平成26年12月に突風により瓦が崩れ落ちたため、葺替工事を行った。しかし、外壁や居室、キッチンなど、建物の内部においては著しく老朽化が認められたため、改修工事を計画した。

なおこの計画については、工事に係る費用が250万を超えることが見込まれたため、理事会において計画の承認と契約方法に関する諸手続きなどを審議したうえで工事を施工した。

30. 7. 25 第217回理事会 計画、予定価格、業者選定について

30. 9. 26 第218回理事会 契約について

30. 10. 1 契約（株式会社伊藤工務店）

31. 2. 7 完了

当該工事の設計監理業務については、フジ設計と契約を締結した。

30. 7. 24 契約

工事金額	7, 452, 000円
設計監理料	303, 912円
合計	7, 755, 912円（自己資金）

## ② 若衆内ハウス 浄化槽置換工事

若衆内ハウスの浄化槽について、設置後30年以上経過しており経年による劣化等の理由により交換を行った。なお当該計画においては、既存の浄化槽の位置での交換が難しいことから同敷地内の置換工事とした。

30. 4. 2 決裁

30. 4. 3 契約（栄豊建設株式会社）

30. 5. 18 完了

当該工事の設計監理業務については、フジ設計と契約を締結した。

30. 3. 23 契約

工事金額	2, 419, 200円
設計監理料	99, 360円
合計	2, 518, 560円（自己資金）

## ③ 大割ハウス 浄化槽設置工事

大割ハウスの浄化槽は、平成23年3月の東日本大震災時、排水に不具合が生じるなどの被害を受けたため撤去し、その後は、臨時的措置として、排水柵を設置し矢指ハウスの浄化槽へ排出をする対策をとっていた。しかし、矢指ハウスの浄化槽への負担が重くなり、定期の点検においても詰まり気味であるとの報告を受けることが多いため、新設工事を行った。

30. 7. 24 決裁

30. 7. 25 発注（森管工株式会社）

30. 8. 31 完了

工事金額	957, 960円（自己資金）
------	-----------------

## 2) 防災対策に関する整備

若衆内ハウス 火災通報装置の交換工事

若衆内ハウスの火災通報装置について設置後17年が経過し、登録内容の更新や連動式への切り替えを含めた機器の交換を行った。

30.10. 9 決裁

30.10.10 発注（有限会社山崎防災設備）

30.11.15 完了

工事金額 248,400円（自己資金）

## 3) 公用車の購入

ナザレの家あさひでの公用車が不足しているため、ADバン（リース契約満了）1台、軽車両（アルト）を2台購入した。

## 4) 各ハウスの設備整備や改修等

利便性や快適性を考慮するとともに、利用者の暮らしやすさに配慮した修繕や改修について、本人及び関係者と相談し、出来る限り速やかに整備を実施できるよう心掛けた。

## エ) 地域のニーズに合わせたサービスの展開を図るについて

ファミリーホーム（小規模住居型養育事業）の視察を検討していたが行えていない。海上療養所からの介護度が高い利用者の対応については、看護師の配置を行い受け入れ時には医療的ケアが行える準備をすすめた。緊急時の対応については、関係機関と情報共有を行い対応を行った。全公用車へドライブレコーダーを設置し、事故防止に努めている。

## 8-3 法人の総合的な安全衛生対策の向上を図るについて

### ア) 防災・防犯対策の向上と交通事故防止対策について

年2回の防災訓練と法人合同防災訓練を実施した。避難訓練の際には、ターポリン担架の使用、火災報知器を実際に鳴らす等して、実践的な訓練になるように心がけた。

セコムとは契約継続をしており、防犯シールを貼り防犯対策をしている。消防設備の点検については、防災設備会社と契約し年2回の点検を行った。

新規開設した、上宿ハウスにセコムを設置した。

### イ) 利用者等安全衛生対策の向上について

職員、利用者の負担軽減を目的として、広原ハウス内に手すりを設置した。

### ウ) 職員の労災事故防止、メンタルヘルスとハラスメント対策の向上について

身体介護の負担が多いホームでは、リフターの利用や腰痛予防体操を声掛けし予防に努めたが、関節痛等により休養される職員もおり、来年度も予防に努めていきたい。メンタルヘルスについては、精神面の負担が強いときには個別に面接を行うなどして対応

を行い、産業医の相談先があることについても情報提供している。ワークライフバランスについては子供の行事や介護等に配慮した勤務調整を行った。ハラスメントについても、これまでの行動や言動が不適切ではないか、事業所内で確認するようにした。

#### エ) IT・情報管理対策の向上について

ウイルス等の感染対策として、覚えのないアドレスからのメールを開かず破棄するよう徹底し、USBメモリ等の使用制限を法人全体で行った。

また、利用者の個人情報外部からの人間にみられないよう、保管場所や保管方法についての確認・徹底を事業所内で行った。

## 9 1年のあゆみ

- 30. 4. 2 辞令交付式
- 4. 26～27 対馬ハウス一泊旅行（茂原市・東金市）
- 5. 8～9 西足洗ハウス一泊旅行（神奈川県）
- 5. 12 いちご狩り
- 6. 2 安全運転講習会
- 6. 11～12 野中ハイツI一泊旅行（神奈川県）
- 6. 11・12・18・21 全ホーム防災訓練
- 7. 14～15 第15回日本グループホーム学会・名古屋大会
- 8. 5 夕涼み会
- 8. 26 ミュージックフェスティバル
- 9. 2～3 矢指ハウス一泊旅行（東京都）
- 9. 5 合同防災訓練
- 9. 12～14 国サービス管理責任者研修
- 9. 30～10. 18 城西国際大学実習生2名（前期2週間）受け入れ
- 10. 3 創立記念行事
- 10. 31～11. 1 大割ハウス一泊旅行（静岡県）
- 11. 1～H31. 4. 25（予定）※毎週木曜日のみ  
東京未来大学福祉保育専門学校実習生1名受け入れ
- 10. 29～11. 13 城西国際大学実習生2名（後期2週間）受け入れ
- 12. 1 千葉県障害者グループホーム大会
- 12. 8 障害者週間行事
- 12. 22 もちつき大会
- 31. 1. 4 新年あいさつ会
- 3. 6 合同研修会
- 3. 13～14 全ホーム防災訓練
- 3. 26～27 千葉県サービス管理責任者フォローアップ研修
- 3. 13～16 美作大学実習生7名（4日間）受け入れ

## Ⅱ 利用者の概要

### 1 ナザレの家あさひ

#### 1-1 利用者の平均年齢

56.8歳

#### 1-2 日中活動の状況

就労 1人、生活介護施設 19人、就労継続B型施設 19人

高齢者デイサービス 2人、その他 45人

移動支援 18人、行動援護 2人、重度訪問介護 3人、身体介護 2人

\*重複あり

#### 1-3 出身地の状況

旭市 25人、市原市 1人、香取市 2人、匝瑳市 6人、山武市 3人

千葉市 4人、銚子市 17人、東金市 1人、東庄町 2人、船橋市 3人

四街道市 1人

東京都（江東区 3人、渋谷区 1人、台東区 1人、江戸川区 1人

中央区 1人、板橋区 1人、八王子区 1人、目黒区 1人）

茨城県 1人、横芝光町 2人、習志野市 1人

茂原市 3人、勝浦市 1人、市川市 1人、多古町 1人、埼玉県 1人

計 27区市町

#### 1-4 障害支援区分

非該当 3人、区分1 1人、区分2 17人、区分3 19人

区分4 21人、区分5 13人、区分6 12人

平均障害程度区分 3.63

#### 1-5 入退去の状況

入居 1名

在宅より 1名

退去 2名

一人暮らし 2名

## 2 ホーム別概要

### 2-1 野中ハイツI

#### (1) 利用者の年齢

46歳 1人、66歳 1人、67歳 1人、68歳 1人、59歳 1人

平均年齢 61.2歳

#### (2) 日中活動の状況

就労継続B型施設 1人、その他4人

- (3) 出身地の状況  
旭市 2人、銚子市 2人、匝瑳市 1人
  - (4) 障害支援区分  
区分4 1人、区分2 1人、区分3 3人
- 2-2 野中ハイツII
- (1) 利用者の年齢  
54歳 1人、61歳 2人、63歳 1人  
平均年齢 59.7歳
  - (2) 日中活動の状況  
就労B型就労施設 1人 その他 3人
  - (3) 出身地の状況  
旭市 2人、銚子市 1人、匝瑳市 1人
  - (4) 障害支援区分  
区分2 2人、区分3 2人
- 2-3 若衆内ハウス
- (1) 利用者の年齢  
32歳 1人、44歳 1人、69歳 2人、68歳 1人  
平均年齢 56.4歳
  - (2) 日中活動の状況  
その他 3人、就労継続B型施設 2人
  - (3) 出身地の状況  
旭市 1人、東庄町 1人、茂原市 1人、銚子市 1人、東京都 1人
  - (4) 障害支援区分  
非該当 1人、区分3 3人、区分4 1人
- 2-4 横大道ハウス
- (1) 利用者の年齢  
39歳 1人、47歳 1人、52歳 1人、56歳 1人、60歳 1人  
63歳 1人  
平均年齢 52.8歳
  - (2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 3人、生活介護施設 3人
  - (3) 出身地の状況  
旭市 4人、銚子市 2人
  - (4) 障害支援区分  
区分4 4人、区分5 2人

- 2-5 中川ハウス
- (1) 利用者の年齢  
42歳 1人、48歳 1人、62歳 1人、68歳 1人  
平均年齢 55歳
- (2) 日中活動の状況  
生活介護施設 3人、その他 1人
- (3) 出身地の状況  
香取市 1人、匝瑳市 1人、山武市 1人、船橋市 1人
- (4) 障害支援区分  
区分5 2人、区分6 2人
- 2-6 萩園ハウス
- (1) 利用者の年齢  
42歳 1人、43歳 1人、53歳 1人、71歳 1人  
平均年齢 52.2歳
- (2) 日中活動の状況  
就労 1人、生活介護施設 2人、高齢者デイサービス 1人
- (3) 出身地の状況  
旭市 1人、千葉市 1人、銚子市 1人、四街道市 1人
- (4) 障害支援区分  
区分4 1人、区分5 3人
- 2-7 東足洗ハウス
- (1) 利用者の年齢  
43歳 1人、57歳 1人、66歳 1人、73歳 1人、41歳 1人  
平均年齢 56歳
- (2) 日中活動の状況  
生活介護施設 5人
- (3) 出身地の状況  
匝瑳市 1人、千葉市 1人、銚子市 1人、東金市 1人、旭市 1人
- (4) 障害支援区分  
区分5 2人、区分6 3人
- 2-8 西足洗ハウス
- (1) 利用者の年齢  
60歳 2人、79歳 1人  
平均年齢 66.3歳
- (2) 日中活動の状況  
その他 3人

(3) 出身地の状況  
山武市 1人、銚子市 1人、船橋市 1人

(4) 障害支援区分  
区分2 1人、区分3 1人 区分4 1人

2-9 広原ハウス

(1) 利用者の年齢  
42歳 1人、65歳 1人、67歳 1人、70歳 1人  
71歳 1人、74歳、1人  
平均年齢 64.8歳

(2) 日中活動の状況  
その他 6人

(3) 出身地の状況  
旭市 1人、銚子市 2人、市原市 1人、習志野市 1人、船橋市 1人

(4) 障害支援区分  
区分3 2人、区分4 2人 区分5 1人 区分6 1人

2-10 大割ハウス

(1) 利用者の年齢  
47歳 1人、67歳 1人、79歳 1人、82歳 1人、90歳 1人  
平均年齢 73歳

(2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 1人、その他 4人

(3) 出身地の状況  
旭市 1人、東京都 3人、茨城県 1人

(4) 障害支援区分  
非該当 1人、区分2 1人、区分3 1人、区分4 2人

2-11 対馬ハウス

(1) 利用者の年齢  
28歳 1人、57歳 1人、66歳 1人、82歳 1人  
平均年齢 58.2歳

(2) 日中活動の状況  
生活介護施設 3人、高齢者デイサービス 1人

(3) 出身地の状況  
旭市 3人、埼玉県 1人

(4) 障害支援区分  
区分5 1人、区分6 2人、区分4 1人

2-12 下立ハウス

- (1) 利用者の年齢  
48歳 1人、60歳 1人、70歳 1人、88歳 1人、51歳 1人  
平均年齢 63.4歳
- (2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 1人、その他 4人
- (3) 出身地の状況  
銚子市 1人、香取市 1人、千葉市 1人、匝瑳市 1人  
横芝光町 1人
- (4) 障害支援区分  
区分3 2人、区分4 2人、区分6 1人

2-13 生沼ハウス

- (1) 利用者の年齢  
68歳 1人、53歳 1人  
平均年齢 60.5歳
- (2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 1人、その他 1人
- (3) 出身地の状況  
旭市 2人
- (4) 障害支援区分  
区分4 2人

2-14 矢指ハウス

- (1) 利用者の年齢  
45歳 1人、54歳 1人、59歳 1人、68歳 1人  
平均年齢 56.5歳
- (2) 日中活動の状況  
就労継続B型 1人、生活介護施設 1人、その他 2人
- (3) 出身地の状況  
旭市 2人、銚子市 1人、茂原市 1人
- (4) 障害支援区分  
区分4 1人、区分6 3人

2-15 小割ハウス

- (1) 利用者の年齢  
32歳 1人  
平均年齢 32.0歳

(2) 日中活動の状況  
就労継続B型(週1日午前中のみ) 1人

(3) 出身地の状況  
銚子市 1人

(4) 障害支援区分  
区分5 1人

#### 2-16 川間ハウス

(1) 利用者の年齢  
61歳 1人、70歳 1人、73歳 1人  
平均年齢 68歳

(2) 日中活動の状況  
その他 3人

(3) 出身地の状況  
勝浦市 1人、市川市 1人、東京都 1人

(4) 障害支援区分  
区分2 2人、区分3 1人

#### 2-17 折戸ハウスI

(1) 利用者の年齢  
51歳 1人、52歳 1人、61歳 2人、69歳 1人、73歳 1人  
平均年齢 61.1歳

(2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 2人、その他 4人

(3) 出身地の状況  
多古町 1人、東京都 2人、千葉市 1人、銚子市 1人、茂原市 1人

(4) 障害支援区分  
区分1 1人 区分2 2人 区分4 1人 非該当 2人

#### 2-18 折戸ハウスII

(1) 利用者の年齢  
32歳 1人、46歳 1人、62歳 1人、68歳 1人、40歳 1人  
平均年齢 49.6歳

(2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 4人、その他 1人

(3) 出身地の状況  
旭市 3人、匝瑳市 1人、山武市 1人

- (4) 障害支援区分  
区分2 2人、区分3 2人、区分4 1人

#### 2-19 仲才ハウス

- (1) 利用者年齢  
25歳 1人、33歳 1人、62歳 2人、68歳 1人、70歳 1人  
75歳 1人、76歳 1人  
平均年齢58.8

- (2) 日中活動の状況  
就労継続B型施設 1人、生活介護 2人、その他 5人

- (3) 出勤地の状況  
東京都 3人、横芝光町 1人、銚子市 1人、旭市 2人、東庄町 1人

- (4) 障害支援区分  
区分5 1人、区分2 6人、区分4 1人

#### 2-20 上宿ハウス

- (1) 利用者年齢  
32歳 1人  
平均年齢32.0歳

- (2) 日中活動の状況  
その他 1人

- (3) 出身地の状況  
銚子市 1人

- (4) 障害支援区分  
区分2 1人

### Ⅲ 支援の概要

#### 1 日課等

利用者個々の状況に合わせて、以下の支援の提供を関係者と協力しながら行った。

- (1) 利用者に対する相談
- (2) 食事の提供
- (3) 健康管理・金銭管理の援助
- (4) 余暇活動の支援
- (5) 緊急時の対応
- (6) 職場等との連絡・調整
- (7) 財産管理等の日常生活に必要な援助
- (8) 食事や入浴、排せつ等の介護等
- (9) 体験利用

#### 2 部門別報告

## 2-1 管理者・サービス管理責任者

- (1) 法人大規模事業所として、様々な対応を迅速に判断する必要があるため、中間管理職の配置を1名することができた。また、看護師1名を新たに配置し、医療的ケアを訪問看護スタッフや病院と協力して行える体制になってきている。更に常勤採用者を2名増やし、マンパワーの確保と雇用の安定化に努めた。
- (2) 人事考課制度を通して、職員の目標設定の確認や業務の課題などを確認した。
- (3) 法人本部と連携し、困難な問題について対応した。
- (4) 職員数も多いため、職員間のメンタルケア及びスーパーバイズに重点を置いた。
- (5) 他機関と連絡会や会議を通して情報共有し、一事業所で問題を抱え込まないように対応した。また、利用者によってはクライシスプランを見直し、有事の対応を確認した。
- (6) 職員不足を解消するために、社会福祉士の実習を受け入れているが、就職試験まではつながったが雇用には至っていない。継続的に実習生の受け入れに取り組んでいきたい。

## 2-2 世話人・生活支援員

- (1) 法人内外の関係事業所と連携して定期的な会議を行い、個別支援計画に基づき利用者への支援方法を統一して支援を行った。
- (2) 人事考課及び状況に応じて個別に話し合いを行い、意思疎通を図った。
- (3) 法人内外の研修会に参加して、技術の向上に努めた。
- (4) 総合的な安全対策の構築に努めた。
- (5) 外部研修に職員を参加させ、スキルアップを図った。
- (6) 世話人会議において、職員の意識や支援の質を向上するように努めた。また、法人理念や事業所で大切にしていることを確認し、支援者としてめざすべき方向性を確認した。
- (7) 他職種、関係機関と連携して、適切な支援を実施するように努める。
- (8) 虐待防止法の理解を世話人会議で促し、各ハウスミーティングにおいて虐待防止について振り返りを行ったり、金銭管理の複数チェックを行い、虐待予防に努めた。また、労働環境や対人ストレスが高いホームについては支援者が抱かえこまない支援体制を築いていくように努めた。
- (9) 高齢化に伴い、転倒する機会が多くなったり新たな疾患を発症する利用者が増え、身体機能低下と健康への配慮をして事故や病気を予防するよう努めた。
- (10) 世話人会議において「終末期」「看取り」というテーマを世話人と考える機会を設け、利用者の多様なニーズに対応できるように努めた。

## 2-3 事務員

- (1) 身だしなみやマナー、利用者の対応も含めた接遇について、必要に応じて確認や助言などを行った。法人内事務研修においては、公認会計士による監査指摘事項を基に、正確且つ適正な会計処理について学んだ。
- (2) 利用者及び家族や関係者との関わりにおいて、よりスムーズに且つ的確な対応が行えるよう、一部の職員にスマートフォンを導入した。これにより、タイムリーに情報が行き渡るようになり、情報の伝達漏れ防止や互いのスケジュール管理なども出来るようになってきている。
- (3) 利用者の金銭管理に伴う処理について、平成31年2月からインターネットバンキングを開始した。このことについては、サービス提供希望者が50名を超え、銀行との取引件数などがかなり増加したためである。次年度はより円滑に処理が行えるよう努めていく。
- (4) 建物や設備等の老朽化対策として、横大道ハウスの外壁や居室、キッチン等の改修

工事を行った。また、公用車不足を解消するため、軽自動車を2台購入した。

- (5) ナザレの家あさひ事務所をはじめ、20箇所のグループホーム（建物）とそれに係る職員の労務管理、経理処理、その他庶務において、健全かつ安定した運営が行えるよう、事務職員間での報告、連絡、相談の徹底に努め、迅速かつ正確な業務の遂行に努めた。

#### 2-4 野中ハイツ I

- (1) 利用者の高齢化の割合が増え、訪問看護ステーション・ソフィアとの医療連携体制を利用し、病状の変化に対応できる体制を整えた。
- (2) 月に一度利用者とのミーティングを行い、利用者が行きたい場所を決め、外食や外出する機会を全員が楽しみにしている。また、毎週水曜日の買い物（食品 日用品）を行った。
- (3) 年に一度の一泊旅行（神奈川県）を企画し実施している。

#### 2-5 野中ハイツ II

- (1) 一人一人個性があり、利用者間のトラブルも多いが、一つ一つ向かい合い納得できるように支援を行なった。
- (2) 利用者ミーティングを継続し、利用者が考えている不安や不満のはけ口、受け皿になっている。
- (3) 服薬管理の必要な利用者2名については、引き続き支援を行なっているが、自己管理には至っていない。
- (4) インフルエンザの発症後、精神症状が安定せず精神科病院へ1名が入院している。

#### 2-6 若衆内ハウス

- (1) 毎月一度の利用者ミーティングを行い、利用者の行きたい場所を決め、外食や外出する機会をもち、生活の楽しみを感じることが出来ている。
- (2) 地域活動の一環として、町内会の溝掃除を地域住民と一緒に利用者と職員が行った。
- (3) 喫煙者がいるため、喫煙場所での喫煙を繰り返し依頼し、火事の予防に努めた。

#### 2-7 横大道ハウス

- (1) 町内会への参加や近隣住民への挨拶等、地域交流は継続して行った。
- (2) 土日の余暇活動について、一人で買い物に出かける事が難しくなっている利用者が二名おり、移動支援のヘルパーを利用している。
- (3) 利用者1名については、ほぼ毎日夕方に外出をしており、本人には事故等がないよう注意喚起し見守った。
- (4) 世話人・ハウス担当者で月1回ミーティングを行い、訪問看護からの指摘事項を情報共有し支援を行った。
- (5) 日帰り旅行を企画し、利用者全員で行くことが出来た。

#### 2-8 中川ハウス

- (1) 重度知的障害のある利用者が入居しており、複数の支援者や事業者が関わっているため、毎日のミーティングや日中活動先との連絡会において情報共有し、支援を行った。
- (2) 加齢によるADLの低下で転倒を繰り返す利用者に対して、見守りをしっかりと行い支援にあたった。
- (3) 体調面に変化があった利用者があり、受診などを行い、他機関と連携しながら医療的ケアを行った。

#### 2-9 萩園ハウス

- (1) 週末は移動支援のヘルパーを活用し、プール教室や買い物、散歩など個別の関わりを大切にしている。
- (2) これまで築いてきた地域との信頼関係を大切に、地域のイベントにも積極的に参加した。
- (3) 食材宅配サービスだけではなく、状況によっては利用者の希望に合わせた献立を提供することができた。
- (4) 複数の世話人が交替で支援をしている為、月1回のミーティングを行い支援の確認を行った。
- (5) ハウスの台所用品老朽化の為、修繕を行なった。
- (6) 高齢の利用者もいる為、バランスの良い食事や運動を心がけていきたい。

#### 2-10 東足洗ハウス

- (1) 現在、5名の利用者全員が他法人の生活介護事業所を利用しており、密に連絡をとりあいながら支援を行った。
- (2) 利用者の希望で、商工会主催のイルミネーションを見に行く事が出来た。
- (3) 日々のバイタルチェックを行い、医療機関や日中活動先と連携して、日々の健康状態の確認を継続して行った。
- (4) 今年度も地域のイベントへの参加等、地域との交流は継続して行っており、来年度も継続して支援していきたい。
- (5) 備品の老朽化、故障などで、新品に交換した。

#### 2-11 西足洗ハウス

- (1) 近隣住民との関係は利用者自身で挨拶や日常的な会話を積極的に行っている。
- (2) 入居者同士のトラブルも時折見られるが、職員介入にて改善している。
- (3) 男性3人入居しているが、お互い協力しあい生活できている。また、月1回の食事会・外出を継続して行っている。
- (4) 今年度も旅行へ行きたいと希望がでていたため、計画していきたい。
- (5) 利用者高齢化によりバランスの良い食事・運動・健康面のケアを行った。また本人の状態に合わせた支援を行った。

#### 2-12 広原ハウス

- (1) 利用者1名外科的手術の為、入院となった。退院後は支援体制の見直しを行い、関係機関と連携しながら支援にあたっている。歩行困難の為、1階廊下、トイレ等手すりを設置しました。
- (2) 来年度も継続して外出の企画を実施していきたい。

#### 2-13 大割ハウス

- (1) 今年度も計画通り、静岡県に一泊で旅行へ行く事ができた。月1回の食事会も継続して行った。
- (2) 高齢化により今までは本人のみで行っていた事も、職員が介入し一つ一つ確認しながら行った。事業所内で最高齢の利用者もいるが、日中活動も含め、楽しい生活がおくれるよう支援していきたい。

#### 2-14 対馬ハウス

- (1) 日中活動先・通院先が利用者ごとに複数あり、連絡調整について不備がないように支援を行った。
- (2) 利用者の些細な変化に注意し、その対応方法を関係機関と連携して調整対応した。

- (3) 身体障害のある利用者のADLが著しく低下傾向のため誤嚥予防や転倒防止に努めた。

#### 2-15 下立ハウス

- (1) 利用者2名の入院があった。入居後からの精神的な疲労もあり、精神状態が安定せず本人希望にて休息入院中。他1名は嚥下困難、栄養状態悪く入院。退院後、歩行不安定であり、ハウス内にて2階より1階へ居室移動を行った。支援体制の見直しを行い関係機関と連携しながら支援にあたっている。
- (2) 利用者2名の血圧が高く、毎日の血圧測定、定期的な内科受診を行なっている。平日の買い物支援等、利用者が外出する機会を継続して行なった。

#### 2-16 生沼ハウス

- (1) 街中にあるグループホームということを生かしてデパートやコンビニなどへ買い物に行くなどして生活している。
- (2) 一名の利用者が、就労を目指していたが、今年度は就労に結びつかなかったため、就労をめざして継続していく。
- (3) 今年度20代の利用者が退居され、新たに一名の利用希望者が体験利用を行っている。

#### 2-17 矢指ハウス

- (1) 利用者の年齢の変化により、身体能力や認知機能の低下がみられており、利用者の状態に合わせた支援を行っていきけるよう、支援者同士、関係機関と連携して支援を行った。

#### 2-18 小割ハウス

- (1) 週1回午前中に就労継続支援B型事業所へ通っているが、目的意識の希薄化により通所できなくなってしまう事があった。日中活動先へ通う目的の再設定を行う事により、現在は毎週通えるようになっている。
- (2) ハウス内では精神的には安定しつつあるが、生活リズムの安定には至っていない。また、外出時等には、予定外の事象で精神的に不安定になってしまう為、毎月の外出については2人体制での支援を継続している。今年度より週に1回日中活動量増やす為、ヘルパー同行し散歩を実施している。
- (3) 毎月のケース会議を主治医・家族・関係機関と行い、情報共有と対応方法の確認を行った。

#### 2-19 川間ハウス

- (1) 利用者3名での生活が二年たち、新しい地域にも馴染めてきている。近隣の病院やお店を利用している。
- (2) 利用者の日中活動先として海上療養所ディケアも休まず参加した。
- (3) 週一回の訪問看護ステーション・ソフィアの訪問看護を利用し、病状の変化に対応できる体制が整っている。
- (4) 月一回のミーティングで決める食事会も全員の楽しみとなっている。
- (5) 環境整備で、破損箇所を確認したら速やかに対応に努めた。

#### 2-20 折戸ハウスI

- (1) 精神症状の悪化により、他住民とのトラブルがないように努めた。しかし、警察対応になる場合もあり関係機関と連携して再発防止に来年度も努めたい。
- (2) 利用者の個別にニーズに対応するように支援を行った。

#### 2-21 折戸ハウスⅡ

- (1) ワンルームタイプの部屋を1人で利用するという特性上、利用者が生活上の悩みを一人で抱え込みやすくなってしまう為、利用者に対話する機会を増やし、本人が悩みを解決できるような環境作りを継続して行った。
- (2) 利用者同士で集まるミーティングを行い、生活上で困っている事や、外出先の検討等を自分達で考える機会を作って対応した。
- (3) 利用者の個別ニーズに対応して、外出同行を行った。

#### 2-22 仲才ハウス

- (1) 近隣との関係性を大切にし、近隣住民の声を聞き、信頼関係を築くように努めた。
- (2) 利用者主体のミーティングや誕生会を行うことが出来た。希望職として月1回刺し身を提供している。
- (3) 利用者の希望により、買い物、床屋などの付き添い支援を行なった。
- (4) 一人一人のニーズに合わせた支援を関係者共々考え、実行に努めており、来年度も同様に行っていきたい。
- (5) ハウス担当職員と世話人との連携を図るミーティングを実施している。

#### 2-23 上宿ハウス

- (1) 新規開設に伴って、近隣との関係づくりを行った。
- (2) 利用者さんの支援としては、関係機関と協力しながら支援にあたった。
- (3) まずは生活に慣れる所から支援していきたい。

## IV 運営管理の概要

### 1 会議、委員会

毎月1回、下記の会議、委員会を行った。

- ・経営会議
- ・施設・事業所長会議
- ・法人グループホーム運営会議
- ・世話人会議
- ・各グループホームミーティング
- ・海上寮地域生活支援連絡会（隔週金曜日）
- ・旭中央病院連絡会
- ・地域生活支援連絡会
- ・総合安全対策委員会
- ・海匠世話人会議
- ・海匠設置者会（年2回）
- ・あい支援センター連絡会
- ・聖家族作業所連絡会
- ・ワークセンター連絡会
- ・その他、必要に応じて、ケース会議、調整会議を行う

### 2 地域との連携（交流）

#### 2-1 行事

地域住民との連携については、野中地区の行事参加やもちつき大会において黒潮会の協力を頂くなど、交流の機会を継続的にもっている。

萩園ハウス	町内会活動（祭り・津波避難訓練・海岸清掃等）
川間ハウス	町内会活動（祭り）
若衆内ハウス	町内会活動（町内清掃・区民会館清掃等）
横大道ハウス	町内会活動（町内清掃等）
野中ハイツⅠ	町内会活動（町内清掃等）
野中ハイツⅡ	町内会活動（町内清掃等）
下立ハウス	町内会活動（町内清掃等）
対馬ハウス	町内会活動（町内清掃等）
大割ハウス	町内会活動（町内清掃等）
矢指ハウス	町内会活動（町内清掃等）
折戸ハウスⅠ	町内会活動（町内清掃等）
折戸ハウスⅡ	町内会活動（町内清掃等）
仲才ハウス	町内会活動（津波避難訓練）

#### 2-2 ボランティア

黒潮会	3名	餅つき
城西国際大学	5名	夕涼み会
	5名	餅つき

伊藤様（一般） 1名 夕涼み会・餅つき

## 2-3 見学者

- 6. 5 聖路加国際病院研修医
- 6. 1 9 聖路加国際病院研修医
- 6. 2 6 聖路加国際病院研修医
- 7. 4 利用希望者
- 8. 2 1 聖路加国際病院研修医
- 8. 2 8 聖路加国際病院研修医
- 9. 4 聖路加国際病院研修医
- 9. 1 1 聖路加国際病院研修医
- 9. 1 3 利用希望者
- 10. 1 3 城西国際大学学生
- 10. 2 聖路加国際病院研修医
- 10. 2 2 利用希望者
- 10. 2 3 聖路加国際病院研修医
- 10. 2 7 利用希望者
- 10. 3 0 聖路加国際病院研修医
- 11. 6 聖路加国際病院研修医
- 11. 8 利用希望者
- 11. 2 2 利用希望者
- 11. 2 7 聖路加国際病院研修医
- 12. 3 利用希望者
- 12. 4 聖路加国際病院研修医
- 12. 1 0 利用希望者
- 12. 1 1 聖路加国際病院研修医
- 12. 1 8 聖路加国際病院研修医
- 31. 1. 7 聖路加国際病院研修医
- 1. 8 聖路加国際病院研修医
- 2. 5 聖路加国際病院研修医
- 2. 1 9 聖路加国際病院研修医
- 2. 2 6 利用希望者

その他、相談事業所、病院関係者、グループホーム利用希望者等に対して、随時見学案内を行った。

## 2-4 実習生

城西国際大学 計2名 30. 9. 30～10. 18（前期）  
10. 29～11. 13（後期）

東京未来大学福祉保育専門学校 計1名 30. 11. 1～31. 4. 25（予定）  
※毎週木曜日のみ

美作大学 計7名 30. 3. 13～3. 16

## 3 防災、緊急時の対策

### 3-1 総合安全対策委員会

毎月の重点項目について、世話人会議・各ハウスミーティング等で、委員会から配布さ

れた資料を配布するなどして周知を行った。

各グループホームでの避難訓練について、世話人会議にて事前に机上訓練を行い、防災訓練後に各ハウスミーティング等にて反省、改善点を話あった。

インフルエンザや車両事故等について必要に応じて各ハウスへの注意喚起を行った。

### 3-2 防災訓練・防災対策

30. 6. 11・12・18・21 全グループホーム防災訓練

30. 9. 5 合同防災訓練

30. 9. 11～14 消防設備点検

31. 2. 27・3. 1 消防設備点検

31. 3. 13・14 全グループホーム防災訓練

## 4 福祉サービスの向上

福祉サービス共通基準の自己評価を全職員が実施し、結果を世話人会議にて報告した。

福祉サービス共通基準の評価においては、全てA評価であったが、職員行動規範チェックリストにおいて、「利用者の入浴、衣類の着脱、排泄、生理等は同性介助を原則とする。」の項目が低かった。男性職員の採用数を増やす事はしているが、求人が思うように集まらない状況が続いている。

## 5 権利擁護

虐待防止委員会を継続的に運営し、新たに導入した利用者メモの確認やヒヤリハット及び事故報告書の内容を確認している。しかし、一軒のグループホームで虐待があり、利用者への対応方法について個別及び世話人会議等を通して再発に努めている状況である。

## 6 苦情解決

苦情受付・解決件数 1 件

折戸ハウスⅡ 近隣住民とのトラブルについて 1 件

## 7 情報公開

ホームページの開設を行い、随時更新を行った。

## 8 職員の動向

### 8-1 職員の異動

採用者 6 名 異動者 6 名 退職者 6 名

30. 4 石毛 洋子異動

30. 4 越川 汐里採用

30. 4 渡邊 弓夫異動

30. 4 八本 道代異動

30. 4 鈴木 春枝異動

30. 4 渡辺 時子異動

30. 4 牛腸 綾子退職

30. 5 野村 昂司採用

- 30. 5 牛腸 俊雄採用
- 30. 6 花香 智也異動
- 30. 7 小池 節子退職
- 30. 7 鈴木 真子退職
- 30. 10 金谷 かをる採用
- 30. 11 佐久間 寿採用
- 31. 1 宮澤 みち子採用
- 31. 1 金谷 かをる退職
- 31. 2 野村 昂司退職
- 31. 3 石毛 八千代退職

### 8-2 休暇等の状況

	人数	年間発生日数	取得日数	平均取得日数	取得率 (%)
常勤職員	12	215.0	119.5	10.0	55.6%
(昨年度)	(9)	(159.0)	(75.4)	(8.4)	(47.4%)
非常勤職員	31	474.0	385.5	12.4	81.3%
(昨年度)	(31)	(467.0)	(440.5)	(14.2)	(94.3%)
合計	43	689.0	505.0	11.7	73.3%
昨年度	(40)	(626.0)	(515.9)	(12.9)	(82.4%)

昨年度まで50%を下回っていた常勤職員の取得率は、7.2%増となる54.6%と、職員の増員による休暇取得率の上昇につなげることができた。

非常勤職員においては、13%の減少が見られたが、これは勤続年数に伴う年間発生日数の増加も加味すれば依然高い水準であることは変わらない為、来年度からもより一層の休暇取得率の推進を図りたい。

### 8-3 衛生管理

全職員を対象に0-157の保菌検査及びインフルエンザの予防接種を行った。これらのごことについては次年度以降も継続して実施していきたい。

### 8-4 研修

- 30. 4. 25 第53回世話人の集まり
- 6. 2 交通安全講習会
- 6. 8 旭中央病院感染症勉強会
- 6. 14~15 省令第三号・喀痰吸引等基本研修
- 6. 25 世話人会議「口腔ケア」
- 7. 14~16 第15回日本グループホーム学会全国大会 in 名古屋
- 7. 18 救命講習会
- 7. 18 医療的ケア教員講習会
- 10. 4 イタリア・ボローニャ精神保健講演会
- 10. 30 第54回世話人会議の集まり「てんかん」
- 12. 1 千葉県障害者グループホーム大会
- 12. 8 障害者週間行事
- 31. 3. 26~27 サービス管理責任者研修
- 9. 16 第31回千葉県障害者グループホーム講座

## 9 補助金

東京都共同生活援助加算（江東区）	978,820円
東京都共同生活援助加算（渋谷区）	586,430円
東京都共同生活援助加算（目黒区）	540,600円
障害者グループホーム運営費補助金（市町）	12,532,340円

## 10 自立支援給付費収入額

訓練等給付費収入	190,506,620円
特定障害者特別給付費	10,357,050円
合計	201,478,230円

## 11 寄附物品（敬称略）

	寄附者	寄附内容
1	木内 明美	米（40kg）
2	加瀬 ハルミ	米（50kg）
3	石橋 啓子	米（30kg）
4	有限会社ユーシン電設 平野 武裕	加湿空気清浄機 1台
5	有限会社ユーシン電設 平野 武裕	米（30kg）
6	嶋田 正	米（85kg）
7	根本 富美子	米（30kg）

## V 資料

別紙1 職種別職員一覧表（平成31年3月31日現在の職員数）

別紙2 組織図（平成31年3月31日現在の組織図）